

基本目標２ あらゆる分野への男女共同参画の推進

主要課題１●政策・方針決定の場への女性の参画促進

施策の方向１●女性の政治参画意識の向上促進

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
4.4 選挙啓発の実施 《概要》 市民の選挙への関心を高めるため、啓発冊子の配布などによる選挙啓発に努める。	継続	市民の選挙への関心を高めるため、街頭や放送などによる選挙啓発に努めた。 ・街頭啓発（つくばエクスプレス守谷駅前） ① 12月2日：午前10時～午後0時 3人 ② 12月7日：午前 7時～午前8時 7人 ・期日前投票における20歳代の投票立会人を募集 ・市役所本庁舎の電話保留音を啓発用に変更 ・市内各公共機関（銀行・郵便局等11箇所）の出入口に啓発のぼり旗を設置 ・市内各公共機関（銀行・郵便局等30箇所）に啓発物品を配付 ・市内スーパーに啓発放送を依頼・広報車による啓発放送 ・市内各所（TX守谷駅等）に横断幕を設置 ・市内循環バスにグラフィックステッカーを貼付 ・啓発ぬりえを配布・回収し、幼少期からの啓発と若い保護者等への啓発 ・各投票所の案内図を新聞折込で配布	総務課	2	b

		※県議会議員選挙 投票率の推移															
		<table><tr><td></td><td>男性</td><td>女性</td><td>計</td></tr><tr><td>H14</td><td>25.90%</td><td>25.90%</td><td>25.90%</td></tr><tr><td>H18</td><td>38.17%</td><td>38.78%</td><td>38.48%</td></tr></table>		男性	女性	計	H14	25.90%	25.90%	25.90%	H18	38.17%	38.78%	38.48%			
	男性	女性	計														
H14	25.90%	25.90%	25.90%														
H18	38.17%	38.78%	38.48%														
45 議会だよりによる啓発の推進 《概要》 議会だよりを発行することにより、政策・方針決定の場への女性の参画意識を高める。	継続	年4回(定例会毎)議会だよりを発行することにより、政策・方針を知ることにより深く理解し、興味を持ってもらえるよう情報を発信し、女性の政治に対しての参画意識を高める。	議会事務局	3	a												
46 議会傍聴の促進 《概要》 定例議会の一般質問における傍聴を推進する。	継続	定例議会の一般質問における傍聴を推進する。	議会事務局	3	a												
47 学習会や講座の開設 《概要》 政治に対する関心を高めるための学習会や講座を開設する。	新規		くらしの支援課	5													

48 審議会等の会議公開制度 《概要》 審議会等の会議を公開し，市政への参画意識を高め，積極的に参加できる環境づくりに努める。	継続	市政に大きな役割を果たしている審議会等について「審議会等の会議の公開に関する指針」を策定し，会議の公開・結果の公表をすることで，市政の透明性の向上や市政への参画意識を高め，誰もが参画しやすい環境づくりに努めている。 公開で実施する会議の開催案内はホームページ・市民ホール掲示板にて周知を図り，開催結果についてはホームページに掲載して公開している。 <table><tr><td></td><td>公開で開催した 審議会等の会議数</td><td>公開で開催した 審議会等の傍聴者数</td></tr><tr><td>17年度</td><td>50回</td><td>30人</td></tr><tr><td>18年度</td><td>55回</td><td>5人</td></tr></table> ※出席委員 男性392名・女性217名・計609名		公開で開催した 審議会等の会議数	公開で開催した 審議会等の傍聴者数	17年度	50回	30人	18年度	55回	5人	総務課	2	a，e，g
	公開で開催した 審議会等の会議数	公開で開催した 審議会等の傍聴者数												
17年度	50回	30人												
18年度	55回	5人												

施策の方向2 ●審議会・委員会への女性の積極的登用

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果									
4 9 審議会等への女性委員の登用促進 《概要》 市の政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、全ての審議会等の女性委員構成割合30%以上を目標とし、女性の積極的登用について働きかけ、女性委員のいない審議会の解消を図る。	継続	市の政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、全ての審議会等について女性委員の占める割合の目標を30%以上とし、努力している。また、広い分野からの女性の積極的な登用を働きかけ、女性委員のいない審議会の解消を図っている。 <table><tr><td></td><td>女性委員が占める割合</td><td>女性委員が30%を超えている審議会の割合</td></tr><tr><td>17年度</td><td>29.5%</td><td>53.6%</td></tr><tr><td>18年度</td><td>31.2%</td><td>56.3%</td></tr></table>		女性委員が占める割合	女性委員が30%を超えている審議会の割合	17年度	29.5%	53.6%	18年度	31.2%	56.3%	総務課	2	a, e, g
	女性委員が占める割合	女性委員が30%を超えている審議会の割合												
17年度	29.5%	53.6%												
18年度	31.2%	56.3%												

50 審議会等委員の公募制の導入 《概要》 公募制を取り入れ、女性の積極的登用を図る。	継続	市民との協働のまちづくりを推進するため、各種審議会委員及び協議会委員の選任に際し、公募制を導入している。 平成18年度は17名を公募により選任し、3名の女性が委員として委嘱されている。 なお、男女共同参画推進委員会のように、設置条例で女性委員の割合を規定していることから、性別を指定して公募をした委員会もある。	総務課	2	e, g
51 女性人材バンクの開設 《概要》 役職の重複を避け幅広い分野からの女性の登用を図るため、女性の人材の発掘と情報収集をし、提供する。	新規	ハーモニー懇話会参加者（1～4期）、ハーモニーフライント参加者、フォーラム・セミナー等参加者を中心にリストを作成している。各種委員の選考・選出などを視野に入れ、情報収集、人材を発掘していく。	くらしの支援課	4	e, f

施策の方向3 ●市・事業所・団体における女性の参画促進

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
52 職場内慣行見直しのための啓発の推進 《概要》 事業所等における職場内慣行や性別による固定的役割分担意識見直しのための啓発活動を行う。	新規	庁内掲示板を利用して、市職員に身近な男女共同参画の取り組みを紹介するコーナーを開始した。 男性職員の育児休業中の体験記を中心に記事を掲載した。守谷市役所が男女ともに働きやすい事業所のモデルになるために、必要に応じて、過剰になることなく見直しを呼びかけていく。	くらしの支援課	2	c, d

5 3 事業所・団体への女性管理職登用についての啓発の推進	新規	茨城県労働局雇用均等室のパンフレット等を配布。今後はＨＰ等で情報提供していく。	経済課	2	a, c, d
《概要》 事業所等における女性管理職登用状況や登用目標値の設定といった事例についての情報収集・提供を行い、女性の活用に関する啓発活動を行う。		今年度から次年度にかけて行う事業所への推進状況調査を通して実施していく。	くらしの支援課	4	c, d
5 4 女性管理職登用状況調査の実施 《概要》 事業所等に対して、女性の管理職登用の現状についての調査を検討する。	新規				
5 5 地域活動などの方針決定の場への女性の参画促進 《概要》 自治会やＰＴＡ，ボランティア活動など地域活動の組織・団体の方針決定の場への女性の参画を促進するため、啓発を行う。		自治会・町内会，市民活動団体等が，人と人とのつながりがある住みよいまちづくりを目指し，環境美化，防犯，防災をはじめとする様々な活動を行っており，男女が共に計画段階から関わり，活躍している。 「守谷市協働のまちづくり推進条例」及び同指針の制定（18年9月）により，今後さらに，まちづくりのための活動や事業など個別の取り組みだけでなく，「まちをつくっていくこと」という全体的な取り組みに皆が参加して実施していくことを目指していく。	くらしの支援課	3	c, e

主要課題 2 ●家庭生活・地域社会における男女共同参画の促進

施策の方向 1 ●性別による固定的役割分担意識の解消

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
20 (再) 講演会・フォーラムの実施	拡充		くらしの支援課	1	a, b, c, g
21 (再) 男女共同参画の視点に立った広報紙・ホームページ等の作成	継続		くらしの支援課	2	a, c, g
22 (再) 男女共同参画に関するリーフレットの作成	新規		くらしの支援課	2	a, b, c, d, e, f, g, h
56 各種講座の開設 《概要》 各種講座等に男女共同参画の視点を導入し、男女が共に学び、協力し合う機会を提供する。	継続	▼中央公民館講座 参加者 127名 ・生命保険の種類と選び方教室 ・アイデア話術教室 ・大人のためのフォークギター教室 他3講座 ▼郷州公民館講座 参加者 男性77名・女性463名・計540名 ・中高年の「やさしいヨガ健康教室」(全3回) ・中高年の「これからのおしゃれ教室」(全3回) ・いきいきセミナー (全5回) 他10講座	生涯学習課	2	g

		▽高野公民館事業 参加者 519名 ・健康講座「ご存知ですか？正しい薬の知識」 ・中高年のための住宅リフォーム術 ・高野地区ふれあいウォーキング 他7講座 ▽北守谷公民館事業 参加者 男性116名・女性235名・計351名 ・ふるさと散策教室2回 ・防犯教室 ・手打ち蕎麦づくり教室 他7講座 ▽守谷地区公民館事業 参加者 255名 ・健康講話「熟年者のためのひざ・腰の痛み」 ・歴史講座「TX沿線・歩いてみよう！上野界限」 ・野鳥観察・里山散策教室 他4講座 ▽大野地区公民館事業 参加者 110名 ・子ども科学実験教室 ・郷土の自慢料理教室 ・移動教室 ・春のうららかウォーキング			
--	--	--	--	--	--

57 多様なライフスタイルを尊重する意識を育む啓発の推進 《概要》 家庭生活や地域社会へ参画する多様なライフスタイルについての情報収集と提供を行い、意識啓発を図る。	新規	ホームページで、県で発信している「チャレンジ支援サイト」を活用してもらえるように促したり、県で発行している啓発広報誌「ハーモニー広場」の中の「家庭の♪ハーモニー」のコーナーを紹介している。	くらしの支援課	3	a, b, c, d, e, f, h
--	----	--	---------	---	---------------------

施策の方向2 ●男女が共に責任を担う家庭生活の実現

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
58 家庭生活の責任分担に関する啓発の推進 《概要》 男女が共に家事や育児、介護に参画することの重要性や一人ひとりの責任に基づく消費生活について広報・啓発する。	拡充	日常生活における性別による固定的役割分担意識について考えていただくために、「父子で挑戦！そば打ち教室」「暮らしをもっと美味しく！楽しく！～ペアで楽しむドイツのクリスマス料理～」を開催した。 【そば打ち】 ・夏休みを利用し、普段時間のないお父さんと子どもがふれあい、共同作業を行う思い出作りの場となった。また、父親が厨房に入る良いきっかけとなった。 ・「子どもとのいい夏休みの思い出になった。」「以前から挑戦したいと思っていたが、一人ではちょっと・・・子どもといっしょにという企画は参加しやすい。良かった。」などと好評だった。	くらしの支援課	2	c, g

		【ドイツ料理】 ・「子どもが小さいと、夫婦そろって何かをすることができないので、このような企画は魅力がある。」との声があったように、「夫婦と一緒に」共同作業をすることにより、相互の理解、尊重を図る場を提供できた。			
10（再）男性を対象とした料理講座の開設	継続		生涯学習課	2	c, f, h
8（再）両親学級の実施	継続		保健センター	1	c, h, i
59 子育て教室の実施 《概要》 仲間づくりとともに、仲間との会話や活動により自分の子育てを振り返り、家族との過ごし方や生き方を探る機会を提供する。	継続	仲間づくりとともに、仲間との会話や活動により自分の子育てを振り返り、家族との過ごし方や生き方を探る機会を提供した。ゆとりをもち安心して、子育てができるよう子育ての仲間づくりと地域のサポート紹介をおこなっている。育児休業中の人の参加もあり、家族間での役割分担等の情報交換を行った。今後はよいパートナーシップを築くことや夫婦で子育てができる環境を整えることも参加者に投げかけてゆきたい。また、広報等でも参加を呼びかけるとともに、父親でも参加できるような魅力のある教室をおこなって行きたい。 4月・6月・8月・10月・12月・2月 （年6回実施）参加者 122名 ※終了後自主サークルへ発展した数・・・5グループ	保健センター	2	b, c, e

6（再）子育て・仲間づくりセミナーの実施	継続		生涯学習課	4	g
60 介護に関する講座の開設 《概要》 介護の知識・技術習得のため、 介護に関する講座を開設する。	継続	○家族介護教室の実施 内 容：介護保険認定の有無にかかわらず、高齢者を 介護している家族の方の教室を実施している 実施者：在宅介護支援センター 相談日：木曜日 午前10時～12時まで	介護福祉課	2	g

施策の方向3 ●男女が共に参画する地域活動の促進

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
11（再）地域活動における男女共同参画の推進	新規		くらしの支援課	2	c, e
61 社協だよりの発行による啓発の推進 《概要》 地域での福祉活動等の情報提供と、意識の高揚を図る。		ボランティア活動への参画促進や、福祉に関する情報提供を行った。全世帯に配布を行っているが、住民の方々にあまり読まれていないのが現状である。市民の方々に福祉に対する意識啓発をしていくのが今後の課題である。	社会福祉協議会	3	g

6.2 市民活動支援センターの運営・整備 《概要》 市民活動の拠点となるセンターを運営・整備し、コーディネーターを育成するとともに、市民のボランティア活動等を支援する。	継続	市民活動支援センターでは、ボランティア活動を通じて、各種地域活動に男女問わず積極的に参画できるよう支援している。市民活動の輪がさらに広がることを目的に、毎月20日『守谷ボランティアNEWS』の発行を開始し、支援センター登録団体の活動についてのPRや参加者の募集をしている。	くらしの支援課	2	b, e
6.3 ボランティア活動等に関する情報提供・相談窓口の充実 《概要》 市民ボランティア活動等への参画を促進するため、地域で活動している団体等の情報を収集し、提供する。	継続	窓口もしくは電話にてボランティア希望者の相談・連絡調整を行なった。ホームページも活用し活動の情報提供を実施。また、ボランティア活動中の事故等支援として、ボランティア活動保険を広報等で幅広くPRし、加入数も年々上昇傾向にある。今後は地域で活動する団体の情報を市民に対して、より早く提供していけるよう市民活動支援センター等との連携を強化していく。	社会福祉協議会	3	b, e, g

6 4 ボランティア講座等の開設 《概要》 ボランティア活動等への参加促進と理解を図るための講座を開設する。	継続	○3級ヘルパー養成講習会開催 男性2名・女性13名・計15名 平成15年度より取り組んでいる3級ヘルパー養成講習会を今年度も11月～3月まで実施。(12日間全56時間)中学生5名・高校生2名・一般8名の方が修了書を手にした。ただ、今年度も昨年度同様女性の比率が圧倒的に多かったので、環境整備、日程調整を行う必要がある。	社会福祉協議会	3	b, e, g
		1月20日(土) 13:00～16:10 国際交流研修センター 守谷市民活動支援センター開設4周年記念講演会 「定年後の夫婦の居場所づくり」 内容：講演・パネルディスカッション 講師：常盤大学 教授 池田幸也氏 3月17日(土) 10:00～16:00 中央公民館ホール セカンドライフいきいきセミナー 「定年後の夫婦の居場所づくり」 内容：発表(15件)とパネル展示(37件)による居場所の案内	くらしの支援課	3	b, e, g

6 5 地域活動団体への支援 《概要》 地域で活動する団体を支援し、 地域活動の活性化を図る。	継続	男女が共に参画する地域活動団体の促進を目的に支援を行った。 18年度は障害者（児）2団体、守谷市ボランティア協会ほか（6グループ）、母子保健推進委員会への支援を行った。	社会福祉協議会	3	a, e, g
		協働のまちづくり推進活動に対して助成金を交付することを目的に、『守谷市協働のまちづくり推進活動助成金交付要項』を施行（18年4月1日） ○助成対象活動 概ね2時間以上かかる作業で公益上必要である作業 ○助成対象 市内に活動拠点をおく市民活動団体等 ○助成金額 ①作業当日の参加人数に150円を乗じた額 ②作業に要した燃料代等 ○交付状況 交付合計 248,145円 団体数 10団体（延べ） 作業内容 ・さくらの杜公園樹木伐採，ベンチ塗装，設備補修，遊具補修 ・高野下河川区域除草2回 ・くるみ公園草刈り2回 ・さくらの杜公園芝刈り，除草 ・新松ヶ丘町内会区域一斉草刈り，側溝汚泥取り出し	くらしの支援課	2	b, e

6 6 交通安全ボランティア講座等の開設 《概要》 交通安全母の会，幼児交通安全ひまわりクラブ，地域住民の連携による活動を推進する。	継続	守谷市ボランティア協会会員が交通安全マスコット（約400個）を作成し，そのマスコットに黒内小学校児童より募集した交通安全標語を付け，祈願を行い，春の全国交通安全キャンペーンにあわせて，住宅公団跡地前，もりや学びの里前交差点で配布を行った。	社会福祉協議会	2	a, c, g
		交通安全母の会は，交通安全キャンペーンでの立しよう，安全協会による啓発活動に積極的に参加した。幼児交通安全ひまわりクラブは，市内の幼稚園，保育園において，交通安全教室や啓発活動を実施した。活動を通して，家庭でも子ども達と一緒に交通安全について話し合えるきっかけを作り，交通ルールを守る大切さを伝えていく。	くらしの支援課	1	e
6 7 環境美化の日の参加促進 《概要》 全市民に呼びかけ，地域におけるゴミ拾いを行う。年3回実施する。	継続	全市民に呼びかけ，地域におけるゴミ拾いを行う。（年3回実施 6/4(日)，9/3(日)，12/3(日)） …参加者数およそ36,000名（3回延べ数） 男女共同参画の視点から見ると，市民が自身の居住する地区内の環境美化問題に対して，男女の別なく一体となって行動する地域連帯行事である。 これまで会社勤めなどで，家庭生活や地域活動に参加できなかったり，関心の薄かった市民も定年退職などにより家庭生活や地域活動に目を向けるようになることが予想される。男女の別なくだれでも気軽に参加できる町内会単位の環境美化活動が，地域活動参加の端緒となれるよう，市としても支援していく。	生活環境課	2	c, e

16 (再) もりやいきいきライ フリーダーバンクの 設置	拡充		生涯学習課	3	g
68 学校行事に参加しやすい 環境の整備 《概要》 学校開放，人材バンクの活用， ゲストティーチャーの導入によ り，PTA 活動等への参加がしや すい環境整備をする。	継続	授業参観，学校開放，親子活動，体育祭，PTA 活動 等の男女保護者が積極的に参加できる学校行事の場 を設定した。 男性2609名・女性2415名・計5024名	指導室	2	c，e，g
69 市実施事業における託児 制度の導入 《概要》 市が主催する事業において，地 域活動に積極的に参加できるよ う，託児制度の導入を図る。	拡充	男女共同参画の推進と子育て世代の社会参加の促進 を図るため，その参加者の乳幼児等を一時的に預かる ことを目的に『守谷市保育ルーム設置要項』を施行し た。(18年4月1日) ○保育対象 市内在住の生後6か月から小学校入学までの乳幼児 ○保育時間 おおむね事業開催時間内(通常2時間程度) ○保育料 無料 ただし，趣味的要素を伴う種類の事業の際に保育を行 うときは，300円(1家族において2人目は無料)	くらしの支援課	1	c，e，g

○利用状況

事業名	利用人数
区長会議	1人
読み聞かせボランティア養成講座	2人×7回
若い女性の健康教室	7人
公共施設有料化説明会	2人
ハーモニーセミナー（4回）	17人
読み聞かせボランティア養成講座 （おはなし会）	4人
子育て・仲間づくりセミナー	15人
ドイツ語教室（5回）	4人×3回
子育て支援講座（3回）	30人×3回
ぱーとなーしっぷフォーラム	1人
母子保健推進員講演会	30人
合計	193人

主要課題 3 ● 国際社会への参画
 施策の方向 1 ● 情報の収集と提供

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
70 海外の男女共同参画に関する情報の収集と提供 《概要》 男女共同参画に関する国際的動向について、情報を収集し、提供する。	拡充	ハーモニー懇話会企画によるハーモニーセミナーⅡ『国境（くに）を越えて～違いはあるけど男女（ひと）らしく～』を実施した。 市内及び近隣在住の外国人を講師に迎え、母国と日本の比較、国によって異なる生活形態や家庭における男女の役割等の話を通して、海外との違いを認識しながら、当然のように感じてきた普段の生活、日本の家族観を見つめ直す機会を提供することができた。 ○開催日 9月29日（金） ○講 師 加藤レイチャル氏（イギリス出身）， シュルツ・アンソニー氏（ニュージーランド出身）， 高 春愛氏（中国出身） ○参加者数 20人（男性2人，女性18人） ハーモニーセミナーⅥ『ハーモニーフライトいばらき（県主催事業）参加者報告会』を実施した。オーストラリア・ニュージーランドにおける福祉，教育，環境の分野における社会事情についてお話いただいた。 ○開催日 3月22日（木） ○講 師 望月 京子氏 ○参加者数 20人（男性2人，女性18人）	くらしの支援課	1	a，g

施策の方向2 ●国際理解，国際交流の推進

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
7 1 国際理解教育の推進 《概要》 小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し，国際理解を深め，広い視野を持つための学習環境の整備を図る。	継続	小学校における英語活動やALTによる「ALTと遊ぼう」を実施した。また，中学校では，コミュニケーション能力の育成の学習を男女混合グループで実施した。	指導室	1	b，c，g
7 2 姉妹都市交流の促進 《概要》 姉妹都市（ドイツ連邦共和国マインブルク市・アメリカ合衆国グリーリー市）との相互交流を促進し，地域における市民参加による国際交流を推進する。	継続	●国際姉妹都市マインブルク市民来市 ドイツ連邦共和国バイエルン州マインブルク市から市長を含む市民14名が来市し，10日間の滞在において，市民交流を行った。 ◎日 程 3月28日（水）～4月6日（金） ◎主なスケジュール（市民交流実施内容） 3月28日（水） ウェルカムパーティー 29日（木） 筑波山観光， アサヒビール茨城工場見学 30日（金） 日光観光 4月 4日（水） 大洗水族館・那珂湊見学 5日（木） フェアウェルパーティー	くらしの支援課	1	e

7 3 青少年海外派遣事業の実施 《概要》 青少年の国際的視野を広げるために、市内の中高生を海外姉妹都市へ派遣し、異文化の理解を図る。	継続	●第17回守谷市青少年海外派遣事業 ◎派遣先 アメリカ合衆国コロラド州マインブルク市 ◎派遣期間 7月27日（木）～8月7日（月）12日間 ◎派遣人数 団員12人（男子4人、女子8人） 引率者2人（国際交流協会の協力者及び市職員）	くらしの支援課	1	b, g
7 4 国際交流サロンの開催 《概要》 市内在住の外国人と市民の交流の場として国際交流協会が主催する事業を支援し、各国の文化を学び、在住外国人との相互理解を深めるきっかけづくりの場を提供する。	継続	▽「日系ブラジル人ふじみさんのお話」（9／3） ▽「ペルー料理教室」（3／11） 年2回実施 諸外国への観点を新たにし、国際協力、異文化相互理解に役立つ場となった。	くらしの支援課	1	g
7 5 ハーモニーフライト事業への支援 《概要》 地域で活躍できる女性リーダーの育成を目的に、県主催ハーモニーフライト事業への参加を支援する。	継続	1名が参加。10月1日（日）～11日（水）の11日間、オーストラリア・ニュージーランドにおける男女共同参画に関する調査、研究を行ってきた。市では、予算の範囲内において当該事業に係る個人負担額の2分の1以内の額を10万円を限度として補助している。	くらしの支援課	3	b, e

施策の方向3 ●外国人が暮らしやすい環境づくり

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
7 6 外国人を対象とした日本語講座の開設 《概要》 外国人を対象に国際交流協会が主催する「ボランティアによる日本語講座」を支援する。	継続	1月17日～3月14日毎週水曜日の夜間、外国人のためのボランティア日本語講座を実施した。 参加者：講師15人，受講生15人 修了生：7人（講座回数8割以上の出席者） 最終日には，自己紹介や日本での体験など，習得した日本語での発表会が行われた。	くらしの支援課	1	g
7 7 外国語による情報の提供 《概要》 市内の外国人が地域の一員として生活しやすいよう，ホームページで外国人向けの情報を提供したり，外国語による生活便利帳を作成する。	継続	1．外国語による生活便利帳を外国人登録時に配付できるように備えている。 2．市内公共施設の案内を中心とした外国語によるガイドマップを作成した。 3．外国語による守谷案内講座を実施し，守谷の特徴ある行事や名所などを紹介したガイドマップを作成した。	くらしの支援課	2	i
7 8 外国人を対象とした相談体制の確立 《概要》 国際交流員（C I R）を中心とした，在住外国人を対象とした相談体制の整備を図る。	継続	市内に住む外国人の生活に関する相談等に国際交流員が対応している。 また，外国へ長期滞在する市民からの諸事情についての相談も多い。	くらしの支援課	3	i